

教育学部の改組について

～ 教育学部は、平成 27 年 4 月に学校教育教員養成課程の 1 課程に再編します～

教育学部では、複雑化・多様化している学校現場の諸課題に対応し得る、より高度な専門性と人間性・社会性を備えた実践的指導力をもつ教員を養成する機能の強化を目的に、次のような改組を行います。

【改組の概要】

- 教員養成機能を強化するため、学校教育教員養成課程に特化し、募集定員を 130 人から 180 人に増やします。
- 学校現場が抱える生徒指導や学習指導上の課題等の解決に対応できる専門性を有する教員の養成機能を強化するため、既存の小学校教育コースを「小学校総合選修」、「教育学選修」、「心理学選修」及び「国際理解教育選修」の 4 選修から成るコースに編成し直し、コース全体の定員を 30 名から 70 名に増やします。
- 教育課題の一つである情報や情報技術の活用に対応できる専門性を有する教員を養成するために、新たに「情報教育コース」（定員 10 名）を設置します。
- 各教科における確かな指導力・授業力を有する教員の養成機能を強化するため、実践的なカリキュラムを導入するとともに、国語教育、数学教育及び理科教育のさらなる充実を目指し、教科教育コースの国語教育選修(+ 3)、数学教育選修(+ 4)及び理科教育選修(+ 3)の定員を増やします。(合計 10 名)

【教育課程の特色】

- 実践的指導力や学校現場対応能力の向上を図るため、現職教員や教育関係者等を交えた小グループによる演習形式の授業をさらに増やします。
- 教科教育コースにおいては、中学校教員及び専門教科の指導に優れた小学校教員の養成を行っており、さらなる教科専門科目の授業内容改革を進めます。
- 教職への意識付けや憧れが早い段階から高まるよう、1 年次より「学校体験」を取り入れます。
- 学生の教職に対する情熱、指導力、人間力の向上を図るため、協働型教職研修プログラムとして、学生・現職教員・大学教員が協働して課題や失敗を分析・評価する省察の場【ちゃぶ台】を設け、「振り返る機会」や「個別的な教育支援」を与える体制の充実を図ります。

◆ 入試関連情報はここから
<http://nyushi.arc.yamaguchi-u.ac.jp/>



【改組による再編イメージ】

